

# 中国三十三観音霊場第二十八番札所 出雲國神仏霊場第十一番札所

## 清水寺境内と札打ち巡拝路の御案内

出雲・伯耆地方には、身内の不幸があると葬儀の後に、故人の戒名をお札に書き地蔵（清水寺では観音様）に貼って回るといふ風習があります。札所めぐり・巡礼の慣習版といったところです。

亡くなられた方は49日の間7度の歳刑を受けるといえます。生きていたものが復讐を積むことによって、亡くなられた方が違った世界で幸せになって欲しいという気持ちから札打ちが始まったとされます。

清水寺では札打ち道に三十三の観音様があり、現在では観音様様の納札箱に札を入れていただくようになっております。

札打ちの後は休憩もかねて境内の食事処で精進料理をご賞味いただき、おくつぎ下さい。境内の売店では、お土産に名物の清水羊羹をどうぞ。

石段の数は、最初の6段を上り、川沿いに大門までが108段あります。また、三重の塔までは333段となっております。

三重の塔は安政6年（1859年）三十三年の歳月をかけて完成し、基礎から先輪までの高さは33.3メートルあります。



あじさい  
駐車場

- 現在地から根本堂まで徒歩 約10分
- 現在地から三重の塔まで徒歩 約12分
- 一番(三重の塔)から三十三番までの所要時間1~1.5時間

仁王門